

2023年8月1日

立教大学国際学術研究交流制度  
2023年度「招へい研究員」報告書

1. 招へい概要

受入 教員	所属・職	文学部・教授
	氏名	石川 巧
受入学部・研究科・研究所		文学研究科
招へい 研究員	所属・職	Assistant professor・Dong-Eui University 所属機関所在国：韓国
	氏名	Sangmin LIM
招へい期間		2023年7月3日～2023年7月31日（29日間）
研究経費		606,800円

2. 滞在中の活動

来日日および離日日を含め、滞在中の活動を記入してください。全日程（毎日）記載する必要はありません。  
講演会やセミナーなどを開催した場合はタイトル、会場、参加者数等を記載してください。

活動内容記入例）〇〇について研究討議、共同研究、講演、講義、大学院生への研究指導等

年月日	活動内容
講演会とセミナー	
2023・7・1	来日
2023・7・4	第1回セミナー 韓国における近代日本語文学研究の現状（1）
2023・7・11	第2回セミナー 韓国における近代日本語文学研究の現状（2）
2023・7・18	第3回セミナー いま、在日文学と韓国の植民地文学を読むということ（1）
2023・7・25	第4回セミナー いま、在日文学と韓国の植民地文学を読むということ（2）
2023・7・31	離日
調査活動	
2023・7・1～7・31	来日中は戦前における歌謡曲の朝鮮受容と戦後の日韓音楽家の交流に関する文献調査を行った。特に、朝鮮で育ちながら朝鮮民謡に馴染み、戦前と戦後に渡ってたくさん朝鮮の歌を作曲してきた歌謡歌王である古賀政男と中山晋平、そして作詞家の西條八十を中心に、立教大学の図書館に所蔵されている資料を調査した。

### 3. 研究・交流状況および成果

上記に記載した活動について、具体的な研究・交流の内容および成果を、本学の学術研究、教育活動、国際交流の進展へ与える効果を含めて、記載してください。講演会やセミナーなどの参加者層（学生、大学院生、一般、教職員等）、会場の様子なども記載してください。

#### 講演

来日中の 2023 年 7 月 20 日には茨城キリスト教大学の文学部文化交流学科に招待され、「日本の文化コンテンツと韓国表象」（於・11 号館 11309 教室）というタイトルで講演を行った。特に、講演会の中では戦後日本の小説やマンガ、アニメ、歌謡曲など、様々な日本の文化コンテンツの中に韓国なるものはどのように表象されてきたのかについて考察し、日韓を越境する文化という観点からこれからの日韓交流の形について考えてみた。

#### 他大学の研究者との交流

・2023 年 7 月 20 日、茨城キリスト教大学での講演会の後、文化交流学科の教員（岩間信之先生、志賀市子

先生、鈴木晋介先生、宮崎晶子先生、藤野真挙先生）と交流会を行い、部局間の学生交流や協定などにつ

いて意見交換を交わした。

・2023 年 7 月 27 日、熊本大学の文学部歴史学科の鈴木啓孝先生に来京してもらい（於・立教大学）、韓国日

本近代学会の秋季国際学術大会（10 月 21 日、会場は熊本大学）や共同研究の打ち合わせを行った。

#### 研究授業（講演とセミナー）

招聘研究員の引受人である石川巧が毎週、火曜日に開いている大学院演習（15 時 30 分～20 時 00 分）のな

かで、セミナーを開催し、毎週 1 時間程度の発表と討論を行った。なかでも最終週には講演をし、最新の研究成果を発表した。